

上杉謙信 (松口月城)

今様 越後の山野靡かせし毘沙門天の旗印

川中島の朝霧に立つは謙信不識庵

豪勇 無双 智 亦 仁

古今の 名將 是れ 斯の 人

単騎 殺到す 信玄の 陣

覆面の 英姿 鬼神に 似たり

豪勇無双智亦仁 古今名將是斯人
単騎殺到信玄陣 覆面英姿似鬼神

解説 上杉謙信を詠った詩。

語釈 ※上杉謙信Ⅱ戦国時代に越後国（など北陸地方を支配した
武將・大名。武田信玄との川中島の戦いが有名。※豪勇Ⅱ強く勇
ましいこと。※無双Ⅱ並ぶものがないこと。比べるものがないこ
と。二つとないこと※智仁Ⅱ智は善悪を判断する能力。知恵。仁
はいつくしみ。なさけ。思いやりがある。※古今Ⅱ昔と今。※単
騎Ⅱ一人の騎士。※殺到Ⅱある物をめがけて勢いよくつき進む
こと。※覆面Ⅱ顔を布などでおおい隠すこと。※英姿Ⅱ堂々と
して立派な姿。雄姿。※鬼神Ⅱ超人間的な威力や能力をもったも
の。

通釈 上杉謙信は豪勇であり、智、仁を兼ね備える武將である。
古今を通じて名將と言われるのは上杉謙信である。川中島の戦い
に於いて、単騎で覆面をした英姿で、武田軍の陣に殺到したのは、
まるで鬼神のようであった。